

令和2年度 園の自己評価

		評価 (1~5)	今年度の状況
教育・保育	園児一人一人が安心感と信頼感をもって活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする	5	園児一人一人としっかり関係を作っているので、安心して様々な体験が出来ている。
	主体的な活動を促す環境の工夫をする	4	主体的な活動をおこなっているが、環境においては、もっと改善が出来ると思う。
	自発的な活動としての遊びを通して指導を行う	4	子ども達の事を受け止めながら指導出来ている。
	園児一人一人の特性や発達に応じた指導を行う	4	一人一人の個性を大切にしながら、指導している。
	活動によって保育所保育指針に示されている3つの資質・能力が育まれている	4	日常の保育の中で、自然と育まれている。
	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、教育・保育にあたっている	3	全体的には意識をしているが、意識が高い職員と、そうでない職員の差がある。
	小学校との連絡会に参加し、小学校教育と円滑な接続ができるように情報交換をしている	4	連絡会だけでなく、必要に応じては、電話等でも情報を共有するようにしている。
健康支援	保健計画に沿った保健活動を行う	3	保健指導が、やや不十分であった。
	園児の機嫌や食欲、顔色を観察し、平常とは異なった状態かどうか注意を払っている	5	朝の巡回で保育士より情報を得て確認。園児ともコミュニケーションを取りながら確認している。
	体調不良や怪我が発生した場合、保護者に園児の状況を連絡し、適切な対応をとっている	4	保護者への連絡は、ほぼ担任が行っているが、必要に応じて対応している。
	園児の成育歴や罹患歴、予防接種状況などの情報を把握している	5	把握している。
	保健だよりにて情報発信をしている	5	月に1回発行している。インフルエンザなどが流行る前等には、臨時号も発行している。
	感染症に対して感染症情報を保護者に伝え、感染症予防に努めている	4	出来る予防は行っている。
	感染症の疑いのある園児に対し、他児と接触しないようにするなど適切な処置、対応をしている	4	事務室内の保健スペースで過ごすようにし、他児とは接触しないようにしている。
食育	睡眠チェックを年齢に合わせて必ず行い、SIDSの危険因子が無いようにしている	5	全てのクラスで行っている。
	AEDの使い方も含めた心肺蘇生法について職員全員が理解できるようにしている	5	園内研修等を通して行っている。
	食育計画に沿って園児が食への興味や関心を高めることができるような活動や関わりをしている	4	年齢や成長を考え、すぐに来る事から、少し頑張れば出来そうな事を組み合わせた食育を計画した。当初は時は難しそうに考え込む子もいるが、教えながら一緒に行くと少しずつ出来るようになり、食に興味を持ってきた様子である。
	安全、安心な給食やおやつを提供をしている	5	当日納品で発注し、常に新鮮な物を使用するようにした。調理時には中心部までしっかり加熱し、温度を記入した。給食、おやつ共に提供時間を考え、安全に美味しく適温で出すよう心掛けた。
	旬の食材を使用したり、行事食を取り入れたりするなど季節を感じられるような献立作成をしている	5	毎月、献立に季節の食材を記載し、旬の食材を沢山取り入れた。誕生会では、季節の行事にあったメニューやケーキを考え、目で見ても楽しく食欲がわくような献立を作成した。
	栄養だよりにて情報発信をしている	4	旬の食材や保育園で提供しているメニューの作り方、食事の様子などを紹介した。
環境・衛生管理	食物アレルギー対応を適切にしている	5	アレルギー食材は完全に除去として調理。除去食・代替え食として提供。食器の色を変え、他児とは分けて配膳車に乗せご配膳を防止。給食室内だけでなく、保育士とも確認をし合い、提供した。
	離乳食は家庭と情報交換をし、一人ひとりに合わせた献立を作成し、提供している	5	保護者に食材チェック表を渡し、その情報にそって1人1人食べたものを確認して調理した。初期～完了期までの食材の形態や味付けを変え、美味しく安心して食べられるようにした。
	室内の換気を適宜行い、室温、湿度や明るさ、音の大きさなど園児が心地よく過ごせる環境を整えている	5	常に心掛け、実践している。特に換気は徹底して行っている。
	嘔吐物、排泄物の処理に当たっては感染防止のための処理を徹底している	5	園内での研修も行いながら、徹底している。園児の衣服に付着した場合の対応等、保護者にもご協力頂くよう常に伝えている。
	衛生的な空間で園児が生活できるよう、丁寧な清掃を行っている	4	分担しながら、丁寧に行っている。
	調乳や園児の食事介助の際には、手洗いや備品の消毒をするなど衛生面の配慮をしている	5	常に行っている。
災害への備え	保育所保育指針、災害への備えに基づき、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全点検を定期的に行っている	5	定期的に行っている。
	保育所保育指針、健康及び安全に基づき、緊急時の対応の具体的内容、手順、職員役割分担について確認をしている	5	年度初めの事業計画書や会議、訓練を通して行っている。
	毎月1回、避難訓練及び消火器訓練を行い、反省をして改善点について検討している	5	毎月しっかりと行っている。
	災害発生時の保護者への連絡、子どもの引き渡しを円滑に行えるよう体制や手順を決め、引き渡し訓練で確認をしている	5	毎年訓練を行うだけでなく、スムーズに連絡が取れる様、確認を行っている。
	防災備蓄を用意し、保存期間の確認、必要に応じた入れ替えを行っている	5	確認をしている。
事故防止	園児の人数確認を定期的に行い、所在把握をしている	5	日頃より行っている。
	遊具や玩具の安全点検を定期的に行っている	4	日常の保育や、消毒時等に行っている。
	園外での活動に際して、事前に危険箇所を把握し、安全に活動できるようにしている	3	特別な活動の時にはゆとりを持ち事前に行っているが、その他の場合には活動の直前に行っている。
	日常的な事故予防として、ヒヤリハットを収集、分析し、事故予防対策に活用している	5	毎日朝礼で情報の共有を行い、最低でも月に一度はリスクマネジメント会議を行っている。
	不審者の対応など危機管理について職員で周知している	3	周知はしているが、まだまだ課題はある。
子育ての支援	睡眠、プール活動、水遊び、食事等の重大事故が発生しやすい場面について、マニュアルに基づきその場面に応じた適切な対応を行っている	4	マニュアルを基に適切な対応を行っているが、更にしっかりと行えるようにしていく。
	保護者が積極的に半日保育体験に参加していただけるよう文書や掲示等で促している	—	例年は行っているが、今年度はコロナの影響で、全くできなかった。
	保護者からの相談に対してはプライバシーの保護や守秘義務を守り、親身に耳を傾ける態度で対応する	5	個別に時間を設け、会議室などで丁寧に対応をしている。
	状況に応じて内部の体制をとったり、外部機関との連携をとり、適切な家庭支援を行う	5	園内だけでなく、必要に応じて、役所等の外部機関とも連携を取りながら支援を行っている。
職員向上	地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を適切に実施している(育児相談・園庭開放・子育て情報誌)	2	地域の支援事業に参加はしているが、園独自では行っていない。
	内部研修を計画的に行い、職員が共通認識の下で教育・保育にあたることのできるようにする	3	会議内等で話を行い、職員間での共通認識に繋げることが出来た。
	キャリアアップを含む様々な内容の外部研修に参加できるよう職員体制を整え、資質向上に努める	5	オンライン研修等の外部研修には参加することが出来、資質向上に繋げることが出来た。